

グローバル社会のESD

ペルー・ベトナム・神奈川県の実践から考える

Research Agenda for International Study on ESD in Globalizing World

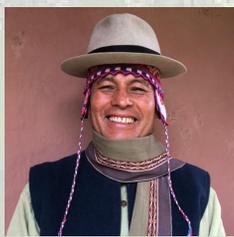
日時: 2024年2月20日(火) 10:00-16:00

主催: 横浜国立大学ESDワーキンググループ

趣旨: グローバル化する社会において、持続的な開発のための教育(ESD)をどのように追究していけばよいのか。本ワークショップでは、2021年にUNESCO-Japan ESD賞を受賞したペルーの小中学校教諭の皆さん、そして学際的な持続性科学の研究で知られるベトナム・カントー大学の皆さんと一緒に、多文化化する神奈川県の小中学校、持続的生産に取り組む農園を訪問したうえで、多文化社会におけるESDの課題について意見交換したいと思います。

開催方法: Zoomウェビナー(参加方法は下記をご覧ください)

ゲスト講演者の皆さん



ローマン・ビスカラ

クシ・カウサイ協会代表、持続的ツーリズム事業
カウサイパック代表、アンデス音楽奏者
ケチュア代表として多くの国際先住民会議に参加している。

講演1: アンデスにおける持続的社会の探究



ネルバ・M・キスベ

クシ・カウサイ・アンデス学校教諭、クシ・ニャン
有機農業事業主事。学校内の菜園管理、伝統
的種子の保存を通じた教育を実践している。

講演2: ケチュアの農業実践とESD



ハイメ・サラサル

クシ・カウサイ・アンデス学校教諭。ケチュア語文
法の著書を執筆するほか、ブラジル・ペルーで
英語・スペイン語・ポルトガル語を教授している。

講演3: ブラジル・ペルーの複言語教育



ウィン・バン・ダ

カントー大学人文社会科学部講師、博士(社会
科学)。持続的観光、自然環境管理、人類生態
学をテーマに研究・教育を実践している。

講演4: メコンデルタにおける持続的社会の探究



チン・チ・タム

カントー大学教育学部地理学科講師、博士(教
育学)。地理教授法、ESDなどをテーマに研究・
教育を実践している。

講演5: ベトナムの学校教育におけるESDの導
入と課題

プログラム

10:00-10:15 趣旨説明

池口明子(横浜国大)

10:15-10:45 講演1

10:45-11:15 講演2

11:15-11:45 講演3

休憩

13:00-13:30 講演4

13:30-14:00 講演5

14:00-14:30 神奈川県の中学校
におけるESDの実践例と課題

戸沼雄介(横浜国大・院)

休憩

14:45-15:00 国大ESDの活動

堀内かおる(横浜国大)

15:00-15:15 ESDの国際的展開

松田裕之(横浜国大)

15:15-16:00 総合討論

※講演は英語またはスペイン語です。
要旨を日本語で翻訳解説します

参加ご希望の方は下記URLま
たはQRコードからお申込みくだ
さい。Zoomウェビナーリンクを
メールにお送りします。

<https://forms.gle/qIUsWbrbBPhaeqF6>

